

地球海洋環境学分野

小島茂明教授: <http://www.ecosystem.aori.u-tokyo.ac.jp/benthos/kojima1.htm>

芦寿一郎准教授: <http://ofgs.aori.u-tokyo.ac.jp/ashi/ashi-res-j.html>

こんな問題に取り組んでいます

昨年3月に三陸沖で発生した巨大地震は深海底の生態系にどのような影響を及ぼし、どれくらいの時間をかけて回復していくのでしょうか。私達は昨年8月と今年の7月に実施された大気海洋研究所の学術研究船「淡青丸」の震災対応航海に参加して、仙台湾から釜石沖の海域で、海底堆積物と底生生物の調査をおこないました。

主な研究テーマ

- ・ 震災前後の小型底生生物群集の現存量や組成の変化
- ・ 地震動に伴う海底懸濁物層の発生と堆積

研究の成果はこんな分野に活かされます

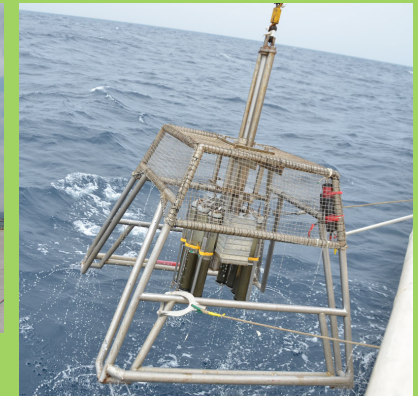
深海底に棲む小型の動物は魚類などの餌となって、より高次の栄養段階の生物群集を支えています。その中には多くの水産有用種も含まれていますので、得られたデータが水産資源の回復を予測するのに役立つことが期待されます。また、海底堆積物の時間変化のデータは海底コアサンプルから過去の地震を推定する際の参考になります。

関連展示: 研究内容等の展示 (大気海洋研究所1階ロビー)

連絡先: 東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻
地球海洋環境学分野
小島 茂明 <kojima@aori.u-tokyo.ac.jp>



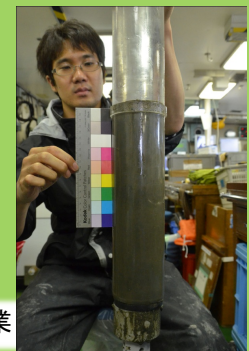
学術研究船「淡青丸」



マルチプルコアラーによる
海底堆積物の採集と観察



オケングラブによる
底生生物の採集



コアサンプルの処理作業